

# つつじヶ丘

令和6年4月号

編集者発行元: 亀岡市立つつじヶ丘小学校  
京都府亀岡市西つつじヶ丘霧島台1丁目1番  
TEL 0771-23-7877 FAX 0771-23-8722

【HP】<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/etsu/>



## 「子どもを『安心感』の中で育てる」

校長 中川 健志

昨日、入学式で新1年生99名を迎え、全校児童632名で今年度が始まりました。

今年度の本校のテーマは子どもたちの「安心感」です。どれだけ子どもたちが心に安心感を持ち、それを膨らませながら学校で過ごせるか、学び続けられるか、これが大きなテーマです。口で言うほど簡単なことではありません。学年が1つ上がり勉強も難しくなる、クラスのメンバーや担任の先生も変わる。特に、この4月は期待もあるかと思いますが不安もあると思います。大人だってそうです。子どもたちは、日々不安と期待を行ったり来たりしながら学校生活を

送っているのだと思います。そんな中で、どうやって子どもたちの心に「安心感」を膨らませることがができるのか、充実した学校生活を送るためには外せない視点です。

今年度、学校の体制が少し変わるところがあります。

1つめは「担任外学年付き」の先生を配置したことです。これは、各学年に3~4人の担任の先生がいますが、それにさらにプラス1人、担任外の先生が各学年に付く(1,2年は兼任)ということです。一言で言うと各学年の相談役もしくは副学年主任のような存在でしょうか。保護者のみなさんも、担任の先生以外に相談したいことや話したいことがあれば、この「学年付きの先生」が対応することもできますので、ぜひお知りおきください。

2つめは支援員の先生が増えたことです。各クラスには、様々な課題を抱えた子どもたちがいます。担任の先生もがんばっていますが、なかなか行き届かないことがあるのも事実です。そこで支援員の先生が子どもに寄り添い、サポートすることで子どもたちが少しでも安心して学習に取り組めるように努めたいと思います。

そのほかにも、週3日ですが養護(保健室)の先生が2人体制になること、3,4年生に理科専科の先生、4年生に算数の先生、6年生の算数に中学校から数学の先生(2学期)、昨年度に引き続き、5年生に英語専科の先生、6年生の英語には中学校から英語の先生がそれぞれ教えに来てくれること、通級教室の巡回指導も週2日から4日に増えるなど、いろいろあります。一言で言えば、子どもたちに関わる先生が増えるということです。このような校内体制の実現に至るには、京都府や亀岡市の教育委員会から大きなご支援があったからに他ありません。先生が増えたからといって、それがそのまま子どもたちの安心感につながるとは思いませんが、まずは、多くの教職員が子どもに関わり、子どもに関わることを共有し、一人一人が子どものことを自分事として捉えながら教育活動を進めていくことが重要だと考えます。それを子どもたちの「安心感」につなげることが最重要課題です。

今年度も皆様の御理解とお力添えをいただきながら、学校教育を進めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 「子どもたちの笑顔のために」

令和6年度 PTA 会長 岡 真士

心地よい春風の訪れと共に、元気いっぱいの新1年生が入学してまいりました。新しい生活の始まりに、ドキドキワクワクする姿はとても微笑ましく感じます。これからの学校生活で、たくさんのお友達とさまざまな経験をして笑顔いっぱい過ごしてほしいです。また、子どもたちの学校生活を通して、私たち保護者も一緒に学びを深め、成長し続けたいなど感じています。

日頃より、PTA活動にご理解とご協力を賜り感謝を申し上げます。ここ数年で、私たちの生活様式は大きく変化し、PTA活動においても数々の制限を余儀なくされました。そのような中、昨年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、PTA活動においても子どもたちが喜ぶイベントを開催することができました。今年度の活動においても、子どもたちの笑顔のために過去を踏襲し、新しい生活様式に沿って形を変えながら、より良い活動を目指していきたいと思っています。PTA会員全員で心をひとつに、地域と手を取り合って子どもたちの笑顔を作り、健やかな育成のためにもPTA活動への温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。私自身PTA会長として大変力不足ではありますが、精一杯努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

